

工 種		項 目	規 格 値 (mm)	測 定 基 準	
1 共 通 工 事	掘削	基準高(V)	⊕ 100 (⊕ 100 ⊖ 200)	線的なものについては施工延長おおむね 50mにつき1箇所割合で測定する。 上記未満は2箇所測定する。 箇所単位のものについては適宜構造図の寸法標示箇所を測定する。	
		幅(W)	基準幅, 小段幅等 ⊖ 150		
		法長(L)	法長 5m未満 ⊖ 200 法長 5m以上 ⊖ 4%		
		施工延長	⊖ 200		
	盛土	基準高(V)	⊕ 100		上記と同一。
		幅(W)	天端幅, 小段幅等 ⊖ 150		
		法長(L)	法長 5m未満 ⊖ 100 法長 5m以上 ⊖ 2%		
		施工延長	⊖ 200		

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの	結果一覧表によるもの	構造図に朱記, 併記するもの		
基準高、幅、法長で 20 点以上のもの	左記のもので 20 点未満のもの	左記のもので箇所単位のもの		( )内は河川土工を示す。
同 上	同 上	同 上		余盛を指定した場合は余盛計画高により管理する。

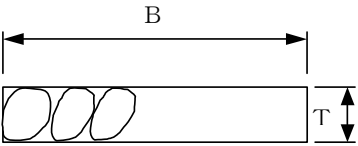
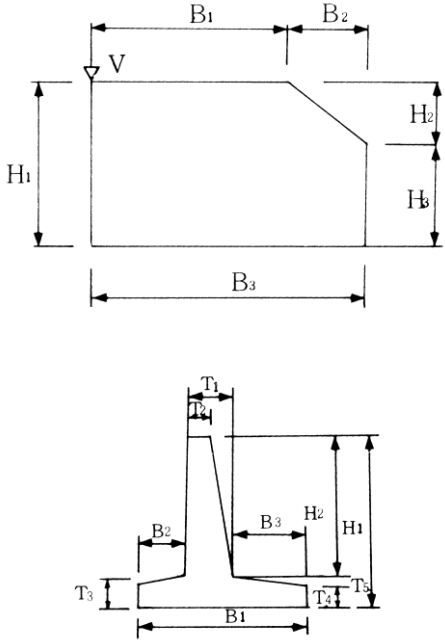
工 種		項目	規格値 (mm)	測 定 基 準
1 共通 工事	石積み コンクリート ブロック積み 石張工 コンクリート ブロック張り  〔河川護岸〕 は除く	基準高 (V)	⊕ 65 ⊖ 40	線的なものについては施工延長 おおむね 20mにつき 1 箇所の割 合で測定する。 上記未満は 2 箇所測定する。 厚さ (T <sub>1</sub> 、T <sub>2</sub> ) の測定は各々、 法長 2 m 未満は 1 箇所 (おおむね L/ 2)、2 m 以上は 2 箇所 ( おお むね L/ 3、 <sup>2</sup> / 3 L) 測定すること を原則とする。 箇所単位のものについては適宜 構造図の寸法標示箇所を測定す る。
		厚 さ (T <sub>1</sub> ) (T <sub>2</sub> )	石面より裏込コンクリート背 面まで ⊖ 50 石面より裏込材料背面まで ⊖ 100	
		法長 (L)	法長 2m 未満 ⊖ 40 法長 2m 以上 ⊖ 75	
		施工延長	⊖ 0. 1%, ただし延長 10m 未 満 ⊖ 50  10m 以上 50m 未満 ⊖ 100  50m 以上 200m 未満 ⊖ 200	
		凹凸	法長の 1% (コンクリートブロ ック積みのみ)	
基礎杭打工 木杭  プレキャスト コンクリート 杭  鋼管杭  場所打杭  深礎杭	基準高 (V)	⊕ 75 ⊖ 45	重要構造物は全数, それ以外は 施工本数 20 本当たり 1 本測定 し、20 本未満は 2 本測定する。 支持杭については打止り沈下量 を全数測定する。	
		場所打杭 ⊕ 45 深礎杭 ⊕ 45		
	偏心 (e)	別表ア参照		
		深礎杭 150		

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの	結果一覧表によるもの	構造図に朱記, 併記するもの		
基準高、厚さ、法長で20点以上のももの	左記のもので20点未満のもの	左記のもので箇所単位のもの及び施工延長		<p>基礎コンクリートはコンクリート基礎を適用する。</p> <p>法長の1%とは、山と谷の差の絶対値をいう。</p>
—	<p>基準高、偏心。</p> <p>なお、別に支持力を示したものについては、杭打ち成績表。</p>	—	<p style="text-align: center;"><math>e = \sqrt{x^2 + y^2}</math></p>	<p>場所打杭とは、オールケーシング工法、リバース工法、アースドリル工法とする。</p>

工 種		項 目	規格値 (mm)	測 定 基 準
1 共 通 工 事	矢板打工 ( 矢板護岸を 含む)	基準高 (V)	⊕ 45	線的なものについては施工延長 おおむね 20mにつき 1 箇所の割 合で測定する。 上記未満は 2 箇所測定する。
		中心線のズ レ (e)	⊕ 100	
		施工延長	⊖ 0. 1%、ただし延長 200m未満 ⊖200	
	オープンケー ソン	基準高 (V)	⊕ 100	構造図の寸法標示箇所を測定す る。 幅、厚さ、長さについては 1 ロッ ト毎に測定する。
		幅 (B)	⊖ 50	
		厚さ (T)	⊖ 20	
		高さ (H)	⊖ 100	
		長さ (L)	⊖ 50	
		偏位 (e)	300	

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの	結果一覧表によるもの	構造図に朱記、併記するもの		
基準高、中心線のズレで20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの及び施工延長	左記のもので箇所単位のもの		<p>中心線のズレは中心線より右を⊕左を⊖とする。</p> <p>指定仮設は基準高等が明記されたもの。</p>
—	構造図に朱記、併記することが困難なもの	基準高、幅、厚さ、高さ、長さ、偏位		

工 種		項 目	規 格 値 (mm)	測 定 基 準
1 共 通 工 事	栗石基礎	幅(B)	⊖ 200 (⊖ 100)	線的なものについては施工延長 おおむね 50mにつき 1 箇所の割 合で測定する。  上記未満は 2 箇所測定する。 箇所単位のものについては適宜 構造図の寸法標示箇所を測定す る。
	砕石基礎	厚さ (T)	⊖ 50 (⊖ 20)	
	砂基礎	施工延長	⊖ 0. 2%、ただし延長 50m未満 ⊖ 100	
	均しコンクリ ート			
	コンクリート 付帯構造物	基準高 (V)	⊕ 45	線的な構造物については施工延 長おおむね 20 mにつき 1 箇所 の割合で測定する。  上記未満は 2 箇所測定する。 箇所単位のものについては適宜 構造図の寸法標示箇所を測定す る。
	コンクリート 基礎	幅(B)	⊖ 30	
	コンクリート 側溝	厚さ (T)	部材厚 30 cm未満 ⊖ 20 部材厚 30 cm以上 ⊖ 25	
	コンクリート 管渠	高さ (H)	2m未満 ⊖ 30 2m以上 ⊖ 45	
	横断構造物	施工延長 (又は長さ)	⊖ 0. 1%、 ただし延長	
	コンクリート 擁壁		2m未満 ⊖ 30 10m " ⊖ 50 50m " ⊖ 100 200m " ⊖ 200	
その他上記に 準ずるもの				

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管 理 図 表 によるもの	結 果 一 覧 表によるもの	構 造 図 に 朱記、併記 するもの		
一	重要構造物の基礎のみ及び施工延長	左記のもので箇所単位のもの		10 幅(B)の( )は砂基礎及び均しコンクリートの場合。20 厚さ(T)の( )は、均しコンクリートの場合であり、管路の基礎は「7 管路工事 管体基礎工(砂基礎等)」による。
基準高、幅、厚さ、高さで 20 点以上のもの	左記のもので 20 点未満のもの又は構造物に朱記、併記することが困難なもの及び施工延長	箇所単位の構造物について、基準高、幅、厚さ、高さ		



工種	項目	規格値(mm)	測定基準	
1 共通 工事	精度を要するもの 分土工計量部 ゲート戸当部 橋台沓部	基準高(V)	⊕ 20	構造図の寸法標示箇所を測定する。
		幅(B)	⊕ 10	
		厚さ(T)	⊕ 20	
		高さ(H)	⊕ 10	
		長さ(L)	⊕ 10	
	U字溝 U字フリーム ベンチフリーム	基準高(V)	⊕ 40	施工延長おおむね 50mにつき1箇所の割合で測定する。
		中心線のズレ(e)	⊕ 50	
		施工延長	⊖ 0.1%、 ただし延長 200m未満 ⊖ 200	
	土水路	基準高(V)	指定したとき⊕ 100	上記と同一。
		幅(B)	⊖ 75	
高さ(H)		指定したとき⊖ 75		
施工延長		⊖ 0.2%、ただし延長 200m未満 ⊖ 400		

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの	結果一覧表によるもの	構造図に朱記、併記するもの		
—	構造図に朱記、併記することが困難なもの	基準高、幅、厚さ、高さ、長さ	<p>A technical drawing of a stepped shaft. It shows a shaft with several different diameters and a chamfered end. Dimensions are labeled as follows: <math>B_1</math> (total length), <math>B_2</math> (length of the first step), <math>T_1</math> (thickness of the first step), <math>V</math> (chamfer angle), <math>B_3</math> (length of the second step), <math>B_4</math> (length of the third step), <math>B_5</math> (length of the fourth step), <math>H_2</math> (height of the first step), <math>H_1</math> (total height), and <math>H_3</math> (height of the second step).</p>	
基準高、中心線のズレで20点以上のも	左記のもので20点未満のもの及び施工延長	—	<p>A technical drawing of a U-shaped part. It shows a U-shaped profile with a vertical centerline. Dimensions are labeled as <math>e</math> (offset), <math>\epsilon</math> (tolerance), and <math>V</math> (chamfer angle).</p>	
基準高、幅、高さで20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの及び施工延長	—	<p>A technical drawing of a trapezoidal part. It shows a trapezoidal profile with a vertical centerline. Dimensions are labeled as <math>\epsilon</math> (offset), <math>B_1</math> (top width), <math>H</math> (height), <math>V</math> (chamfer angle), and <math>B_2</math> (bottom width).</p>	

工 種		項 目	規 格 値 (mm)	測 定 基 準
1 共 通 工 事	鉄筋組立	かぶり (t)	$\oplus \phi$ かつ最小かぶり以上  $\phi$ : 鉄筋径	測定箇所標準図による。  1 スパン (1 打設ブロック) 毎に 測定する。
		中心間隔 (b)	$\oplus \phi$  $\phi$ : 鉄筋径	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの	結果一覧表によるもの	構造図に朱記、併記するもの		
—	○	—	<p>鉄筋のかぶり(t)の測定位置(ボックスカルバートの例)</p>	1面当たり4箇所程度測定する。同一鉄筋上での測定は行わない。
			<p>中心間隔(b)の測定位置(ボックスカルバートの例)</p>	1面当たり鉄筋10本程度の間隔を測定する。測定箇所は、スパン毎に同じ位置とないように測定する。